

はじめに——本書の目的と使い方	3
第1章 多様化する働き方	7
Part I 労働者とは、労働契約とは	7
Part II 様々な働き方	14
コラム「労働者派遣制度の見直しを考える」	22
Part III 正社員と非正社員	23
コラム「限定正社員制度を考える」	33
第2章 労働条件の確認	35
Part I 求人票、労働条件通知書	35
コラム「求人票記載の『仕事内容』とは？」	
—メンバーシップ型雇用という特殊性から考える	39
Part II 労働基準法と労働条件	46
Part III 就業規則の役割	53
コラム「採用面接時における人権上の配慮」	59
Part IV 年少者の労働条件	61
Part V 最低賃金	65
コラム「ベーシックインカム」	69
Part VI 給与明細書の見方	70
第3章 労働トラブルにあったときの考え方	79
Part I 解雇をめぐるトラブル	79
Part II セクハラへの対処方法	84
Part III 労働者のミスと損害金	89
資料 労働トラブルの相談先と処理の概要	92
資料 働く人のための相談窓口	93
第4章 職業生活と社会保障——とりわけ労働・社会保険の基礎知識	97
Part I 失業と雇用保険の役割	98
Part II 出産・育児——健康保険と雇用保険	104
資料 健康保険の給付	110
コラム「『女性の活躍推進法』とその本気度を探る」	111
Part III 年金の給付と納付——公的年金	112
資料 公的年金——国民年金と厚生年金	115
資料 年齢・働き方の違いと保険の種類	116
コラム「国民年金の保険料のあり方を考える」	117
Part IV 通勤災害と業務上災害——労災保険	119
資料 平成23年12月26日 厚生労働省「精神障害の労災認定」 新基準より	126

資料	働き生きるためのセーフティネット概念図	127
コラム	「生活困窮者自立支援法 中間的就労の場をNPOなどが提供」	128
Part V	生活保護の申請	129
コラム	「社会的排除とソーシャルインクルージョン」	134
巻末資料 1	今日の雇用環境など労働市場を考える	135
巻末資料 2	若者を取り巻く雇用環境の変化—— 「7・5・3現象」とは何か	141
	1. 「7・5・3現象」	141
	2. 我が国の雇用慣行の特徴と変化	141
	3. 若者の早期退職は、なぜ生まれるのか	143
	4. フリーター・ニートの存在は、自己責任か	144
	5. 労働市場の流動性と非正規労働者について	144
	6. 「7・5・3現象」の示すもの	145
	7. 最後に	147
巻末資料 3	これからのキャリア教育の課題—— 学校を離れた若者のライフスキル	148
	1. キャリア教育とは何か	148
	2. いまのキャリア教育は、何を目指しているのか	148
	3. 就職難の時代に現行のキャリア教育は 応えることができているか	149
	4. いまのキャリア教育で行われていること	150
	5. 就職活動状況の変化	150
	6. これからのキャリア教育に必要なこと	151
	7. キャリア教育の今後の展望、あるべき姿	152
巻末資料 4	NPO法人あったかサポート「出前授業の記録」	155
	1. アンケート結果から見える労働教育の現状と課題	162
	2. 「学ぶことと働くこと」へのアンケート調査結果 (2013年度)	162
	●お奨め本リスト	167